令和８年１１月１６日

保護者の皆様

札幌市立富丘小学校
校長　永井　敬仁

全国学力・学習状況調査の結果について

今年度４月２３日に行われました全国学力・学習状況調査の本校の結果について報告いたします。この調査は、毎年６年生を対象にして行われますが、本校での６年間の学びの積み上げを客観的に分析する指標ともなります。本校全体の課題として受け止め、今後の教育活動に生かしてまいります。

【小学校国語】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

富丘小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 ＜思考力・判断力・表現力等＞ ◇ 話すこと・聞くこと・書くこと **全国平均を上回っている** ◇ 読むこと **全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている** ・「話すこと・聞くこと」では、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することについては、全国と同様、本校も正答率が低くなっている。 ・「書くこと」では、引用して自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することについては、全国と同様、本校も正答率が低くなっている。 ・「読むこと」では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることについては、全国平均よりやや下回っている。 ＜知識及び技能＞ ◇ 言葉の特徴や使い方に関する事項 **全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている** ◇ 情報の扱い方に関する事項 **全国平均を上回っている** ◇ 我が国の言語文化に関する事項 **今年度は出題なし** ・「言葉の特徴や使い方に関する事項」では、漢字を文の中で正しく使うことについては、正答率が全国平均をやや下回っている。	●資料を活用したり、本文を引用したりして、目的に相手に応じて自分の考えを工夫してまとめること。 ●文章の内容を正確に捉え、それを自分の考えと結び付けて表現すること。 ●漢字など、言語に関する知識を深め、適切に書いたり、活用をしたりすること。	○本文や資料から根拠となる情報を選択し、自分の考えと関連付けて表現する活動を日常的に取り入れる。また、目的や相手に応じて、引用する内容や資料の示し方、言葉の選び方を工夫する場を設定し、互いの表現を評価したり改善したりする学習活動を充実させる。 ○文章の内容を正確に捉え、根拠となる本文を明確にしながら、自分の考えと関連付けて表現する活動を充実させる。特に、「文章から分かったこと」と「文章を読んで考えたこと」を整理した上で、根拠を示して自分の考えを書く活動を継続的に行っていく。 ○漢字の意味や用法を理解し、文脈に応じて適切に使う活動を充実させるとともに、日常的な書く活動を通して既習漢字を活用する機会を増やしていく。

【小学校算数】 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

富丘小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 ◇「数と計算」「図形」 **全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。** ◇「測定」 **全国平均を上回っている。** ◇「変化と関係」「データの活用」 **全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。** ・「数と計算」では、数を四捨五入して概数で表すことについては、正答率が全国平均を大きく下回っている。 ・「図形」では、立方体の体積を計算して求めることについては、正答率が全国平均をやや下回っている。 ・「測定」では、示された情報を基に、数量の関係に着目して条件に合う時間を求める問題が出題され、正答率が全校平均を上回っている。 ・「変化と関係」では、百分率で表された割合と比較量から基準量を求めることについては、正答率が全国平均を大きく下回っている。 ・「データの活用」では、表から集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること、帯グラフからおよその割合を読み取ることについては、正答率が全国平均を大きく下回っている。	● 四捨五入する位を正しく捉え、次の数字に着目して、四捨五入のきまりに沿って表すこと。 ● 立体の大きさを表す体積の意味を理解し、1 辺の長さに着目して体積を求めること。 ● 百分率を小数で表し、比較量と割合から基準量を求めるための式を立て、計算すること。 ● 表の数値と集計結果を正確に比較して誤りを見付け、その根拠となる数値を示しながら言葉で説明すること。 ● 帯グラフの目盛りや全体との関係に着目し、各項目のおよその割合を読み取ること。	○四捨五入する位を、問題文や数の中で丸で囲むなどして明確に捉え、次の数字に着目して判断する手順を繰り返し確認することで、正しく概数で表す力を高めていく。 ○1㎤の立方体を実際に並べる活動を通して体積の意味を捉え、立方体の1辺の長さと体積の関係を図や式と結び付けながら理解できる力を育てていく。 ○百分率を小数に直すことと、基準量・比較量・割合の関係を図や式で捉えることを繰り返し練習し、基準量を求める力を養っていく。 ○表の数値と集計結果を照合する活動を取り入れ、誤りを見付けた際には、根拠となる数値を示して説明する練習を重ねることで、根拠を明確にして表現する力を高めていく。 ○帯グラフが全体を100%であると捉え、目盛りや項目の境目に着目しながら、およその割合を見積もる学習を繰り返すことでグラフから割合を読み取る力を養っていく。

【児童質問紙】 富丘小学校児童の傾向①

本校児童が、全国平均と比較して肯定的な回答が多かったもの

・毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
・学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか（全国平均より頻度が多い）
・自分には、よいところがあると思いますか
・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
・将来の夢や希望をもっていますか
・人が困っているときは、進んで助けていますか
・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
・人の役に立つ人間になりたいと思いますか
・学校に行くのは楽しいと思いますか
・5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、
　☆どの程度使用しましたか（全国平均より頻度が多い）
　☆文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか
　☆インターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか
　☆情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか
・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、わかるまで教えてくれていると思いますか
・授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか
・5年生までに受けた授業について、
　☆課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか
　☆各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか
　☆国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれましたか
　☆国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いていましたか
・道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
・国語の勉強は得意ですか
・国語の勉強は好きですか
・算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
・これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）

【児童質問紙】 富丘小学校児童の傾向②

本校児童が、全国平均と比較して否定的な回答が多かったもの

・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
・ 放課後や学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、地域の図書館（電子図書館を含む）にどれくらい行きますか（全国平均より頻度が少ない）
・ 新聞をどれくらい読んでいますか（全国平均より頻度が少ない）
・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
・ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
・ 学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか
・ ５年生までにうけた授業では、
☆国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめていましたか
☆算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか
☆算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか
☆図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思いましたか
・国語の授業の内容はよく分かりますか
・算数の勉強は得意ですか
・算数の勉強は好きですか
・算数の授業の内容はよく分かりますか
・英語の勉強は得意ですか
・英語の勉強は好きですか
・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいですか

おわりに

本校では、今年度、「**心を動かして学び出し、学び続ける力**」の育成を目指して、教職員全員で子どもたちと向き合ってきました。それらが、国語科の学習においては意欲を高め、よい影響を与えていることが分かりました。しかし、算数科においてはほぼ全領域において課題が見られます。また、児童質問紙の回答から、学習で分からないことに出合った時にその都度解決し、次の学習に生かしていく姿勢など、改善の余地が伺えます。子どもたちが主体的に学ぶことができるよう、引き続き教職員が一丸となって全力で教育活動に取り組んでいきます。また、今年度は「将来の夢や希望をもつこと」や「人の役に立つ人間になりたいという願いをもっている」という点で、子どもたちの肯定的な回答が多くみられました。日頃より本校の教育活動に寄与してくださる地域の皆様や、PTA 活動のおかげです。心より感謝申し上げます。